

## 「新カリキュラム実習の現状」と「実習の受け入れ対策」

～実習委員会と実習指導者の実践報告から～

2021年から社会福祉士養成課程が新カリキュラムとなり、その養成課程が修了し、社会福祉士としての実践を開始しています。宮城県医療ソーシャルワーカー協会では実習委員会を設け、宮城県社会福祉士会の実習指導委員会と連携しながら、実習指導者講習会、実習指導者フォローアップ研修の共催等を通じて新カリキュラムの浸透を図るよう努めてきました。しかしながら、新カリキュラムの実習は実習指導者、養成校及び実習生に十分に浸透していない部分があります。またこれから実習生を受け入れるにあたり、実習プログラムの作成等の受け入れ準備や実習をどのように進めていけばいいのかと不安を抱いている方もおられるのではないのでしょうか。

今回、新カリキュラムの実習について職能団体の実習委員会としての取り組みから新カリキュラムの実習の現状を報告いたします。また、新カリキュラムの実習受け入れ経験のある実習指導者の実習プログラムの作成、実習スーパービジョン、評価等の実践報告を通じて新カリキュラム実習の理解を深めると共に、実習の受け入れ対策に繋がることを目的とします。また例として実際に受け入れ経験のある機関の実習プログラム、実習予定表を共有し、実習の準備、展開についてグループワークを行い、実習の受け入れ対策としていきます。

1. 日程：令和8年4月18日（土）14：00～16：00

2. 場所：仙台市立病院

3. 研修テーマ「新カリキュラムの実習の現状」と「実習の受け入れ対策」

4. 研修内容

「実践報告」

① 「実習委員会としての取り組みと現状報告」

報告者 総合南東北病院 菊地 知憲氏

（宮城県医療ソーシャルワーカー協会実習委員会）

② 「実習指導者としての実習の受け入れ準備と実習展開の経験」

報告者 みやぎ県南中核病院 大村 亜沙美氏

③ 「グループワーク」

各機関の実習の現状、実習プログラムや実習予定表等を共有して、実習の準備、展開等の実習受け入れ対策とする

5. 申し込み方法

研修担当 総合南東北病院 患者サポートセンター 菊地知憲（TEL0223-23-3746）

QRコードからお申し込みください

<https://forms.gle/8ZDPuWrGZJF7w4x8A>

